

# 議 平生町 議会だより

9月議会報告

9月定例会9/11～25(15日間)

第174号

2024年10月25日

発行 平生町議会 発行責任者 中村 武央  
〒742-1195 山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1  
TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109  
E-mail gikail@town.hirao.lg.jp  
編集 議会広報広聴調査特別委員会  
印刷 中村印刷株式会社



秋だ！元気だ！かけっこだ！（ひらお保育園 10月5日）

主 な 内 容	定例会・討論・常任委員会審査報告 .....	P. 2
	決算特別委員会・監査委員決算審査意見・人事案件 .....	P. 3～4
	いっぱん質問 5人 .....	P. 5～8
	継続調査案件の調査・議会の動きなど .....	P. 9
	研修報告・12月定例会会期予定など .....	P.10

# 9月 定例会 9月11日~23日

## 一般会計予算 63億4,918万8千円に 特別会計などを含めた予算総額は109億8,995万8千円に

令和6年第4回（9月）定例会は、9月11日から25日までの15日間の会期で開かれました。上程された補正予算4件、条例5件、事件2件、認定6件、同意1件、諮問2件は、最終日の25日に全て全会一致で可決・認定されました。

### 一般会計補正予算

（単位：千円）

主な歳入		主な歳出	
補正額	項目	補正額	項目
699	地方特例交付金	93,334	財政基金積立金
▲ 69,369	地方交付税	3,500	庁舎外構整備工事請負費
▲ 2,725	総務費国庫補助金	▲ 2,048	デジタルデバインド対策委託料
1,048	民生費国庫補助金	3,069	自治体情報システム標準化委託料
1,827	民生費県補助金	10,658	国民健康保険事業勘定特別会計繰出金
1,604	農林水産業費県補助金	10,966	障害者福祉費過年度国県返還金
81,101	財政基金繰入金	9,285	過年度後高齢者医療療養給付費負担金
136,667	繰越金	6,019	保育所運営費過年度国県返還金
6,800	衛生債	1,382	母子衛生費過年度国県返還金
▲ 4,922	臨時財政対策債	37,555	予防接種委託料
		1,508	予防費過年度国県返還金
		1,604	地域農業資源リノベーション事業補助金

### 一般会計補正予算

補正額

1億8,610万5千円

予算総額

63億4,918万8千円

### 下水道事業会計補正予算

資本的収入の一般会計からの出資金額が9,428万2千円に。補助金額が1億2,855万9千円と補正された。

### 介護保険事業勘定特別会計補正予算

令和5年度繰越金を介護給付費準備基金に2,389万6千円積み立てるもの。

### 国民健康保険事業勘定特別会計補正予算

交付税確定に伴う財政安定化支援事業の繰入金増額と令和5年の繰越金などを国民健康保険事業基金へ積み立てるもの。

### 答

標準財政規模の10%程度が適正。本町については、4億円程度の積立てが必要と思われる。総合計画などで令和7年度に7億円以上を目標に掲げ進めている。

一般会計補正予算の主な内容は、上の表の通りです。財政調整基金の残高が危機的な状況にみえる。安定的な基金はどの程度だと考えているか。

### 条例改正

● 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

マイナンバーを乳幼児・子ども・ひとり親家庭・重度心身障害者の医療助成事務に利用するための条例整備。他、4件。

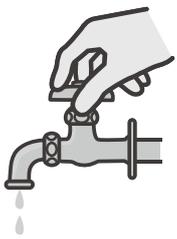
### 規約等変更

● 柳井地域広域水道企業団の共同処理する事務の変更及び規約の変更について

令和7年4月1日からの柳井地域の全ての水道事業の経営統合に伴う規約の改正。

● 田布施・平生水道企業団規約の変更について

令和7年4月1日からの柳井地域水道企業団への経営統合することに伴い、田布施・平生水道企業団が解散した場合に、承継事務が円滑に行えるようにするための改正。



### 賛成討論

原真紀議員  
（抜粋）

柳井地域が水道事業について統合していくことは、必須だと考えます。水道は、私たちの暮らしには欠かせない設備の一つです。平生町に暮らして安心だと実感できる内容、町民の皆様へ説明して納得してもらえる内容を実現できる体制を構築されることを信じて賛成いたします。

### 常任委員会審査報告

### 総務厚生

本会議から付託された案件の審査を9月18日に行い、全て全会一致で可決すべきとなった。

主だった質疑では、デジタルデバインド対策の約200万円の減額について質疑があり、文科省の補助金メニューの廃止による事業全体の見直しのためとの回答があった。

「一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」は、災害応急作業

等手当を追加した背景と金額について質疑があり、能登半島地震を受け総務省からの通知がきっかけとなったもので、金額は県内他市町の条例と本町の特殊勤務手当等を勘案したとの回答があった。

### 産業文教

本会議から付託された案件の審査を9月19日に行い、全て全会一致で可決すべきとなった。

主だった質疑では、就学援助費については、算定に使用する扶助基準額に掛ける係数の拡大は、給食費のみか全体に対してかとの質疑があり、給食費のみの使用を考えているとの回答があった。

来年4月1日からの給水の開閉栓の手続きや漏水時の問い合わせ先についての質疑があり、開閉栓は柳井市役所窓口と本町民福祉課とする予定で、漏水は、柳井地域広域水道企業団となるとの回答があった。

## 決算特別委員会

9月13日、17日

### 令和5年度一般会計決算

歳入 61億2,846万5,711円

歳出 58億650万7,720円

令和5年度一般会計決算、各特別会計決算および企業会計決算は審査の結果、全会一致で認定すべきとなりました。

#### 一般会計決算の主な質疑

##### 歳入

【質】財政基金繰入金について、持続可能な財政運営で行政評価はBである。少し危機的な状況だと思う。原因は何か。

【答】全庁的にコロナ交付金等を活用した事業を標準的なものとして捉える感覚となっていたことは否めない。改めてコロナ前の感覚に立ち返り、次年度予算編成を行う。

##### 歳出

【質】関係人口創出業務について、どういう成果が出たか。また今後の見通しは。

【答】メルカートを年2回、オンラインイベントや日帰り体験ツアーの開催。動画やSNSの活用セミナー講座を行った。まちな賑わいが持続的に続く形の途中段階としては、順調にいらっていると考える。

【質】ふるさと納税の寄附金額が前年度比で下がっている。金額別や商品別では、

何の利用が多いか。

【答】令和4年度の主力商品が都合で出品できず減少。海産物、花のアレンジメント、お米が上位である。

【質】地域交流センター運営費について、蛍光灯のLED化を早く進めるべきだが、現況はどうか。

【答】今年度予算化しており、現在、来年度に向けて各施設の調査を行っている。

【質】交通安全対策費補助金の街路灯設置について、事業の進み具合はどうか。

【答】街路灯のLEDへの改修を主眼に置き補助している。自治会所有の街路灯約75%以上が改修済みである。

【質】企業支援事業の採択後の追跡調査などは行っているか。

【答】それぞれの企業から起業後5年間は、実績報告をもらうことになっている。

【質】地域交流センターの借上料について、永続して同じ金額なのか。変更もあ

りうるか。

【答】状況変化等あれば、見直しも検討している。

【質】地域おこし協力隊活動支援業務について、業者委託が初めての試みであったが、総括を。

【答】企業に委託することでメルカートの開催や各地域のまつりへの参加が協力隊の発議によってすすめられた。このように自由な活動をしてもらった点では成果があったと考えている。



生活応援商品券配布事業

について、商品券の額面は、少額がなぜなかったか。協力店へのポスター掲示について事前に相談がなかったのはなぜか。

額面が千円のみだったのは、金額を少額にすれば枚数が増えるので、コストを抑えるためである。ポスターについては、協力店への確認は、事業開始の期間が短く難しかった。

ふるさと納税にかかる委託料など1,800万円の内訳説明を求める。

総務管理費、地域振興費の報償費は、商品代。役務費は各ポータルサイト等への掲載の保守手数料等。委託料は、商品の発注と発送の経費となる。

消防費の報償費について、全国的に団員が減っている対策をどう考えているか。

本町の現状は、昨年170名に比べて20名減少している。有効な手立てがないのが現状。

一般への募集の呼びかけを行い、財政的に厳しいが報酬額の見直しや団員加入の条件の緩和も行っている。

保健衛生費、環境調査委託料の目的、内容と不用額の内訳は。

環境の分析調査業務委託で、町内の住環境の保全を目的とし、水質検査と大気降下煤じん、悪臭測定などを行っている。不用額は、毎年度入札で業者を選定しており、その入札減である。

省エネ家電買換え促進事業は、重複することなく63名の利用か。

一世帯一項目一補助対象である。

農業振興費、就業前準備研修事業について、現状はどうか。

今年度10月に沼地区周辺でイチゴ栽培を専業で取り組まれる。その就農準備に向けての支援を行っている。



水産振興対策事業費、アサリ母貝事業、放流事業の現状はどうか。

アサリは、試験的に稚貝を放流、資源回復に向けての取り組み。令和5年度は、ガザミ、ヒラメ、ウニを放流。漁協が水揚げの状況を見ながら放流魚種を選定している。

県企業誘致推進連絡協議会は、どういったものか。県内の組織で、東京事務所等も活用した企業誘致等の活動を、この協議会を通じて行っている。

公園事業費、遊具点検について、点検結果は、どうか。

特段修理・停止等の指示はない。

町債のうち約51%が下水道事業に関わる理解でよいか。

町債の多くの部分を下水道事業、公営企業債が占めている。

## 人事案件

### 平生町教育委員会委員の任命



いまむら ふじの  
今村 富士乃氏

令和2年から現在まで1期4年間で任期満了となりますが、引き続き平生町教育委員会委員として推薦したいとの申し出があったことから、全会一致で了承しました。

### 人権擁護委員の推薦



きたに いっお  
木谷 巖氏

木谷巖さんは、任期満了となりますが、引き続き人権擁護委員として推薦したいとの申し出があったことから、全会一致で了承しました。



いまむら ふじの  
今村 富士乃氏

今村富士乃さんは、任期満了となりますが、引き続き人権擁護委員として推薦したいとの申し出があったことから、全会一致で了承しました。

### 監査委員決算審査意見（要旨）

事業の経営などの審査において、数値による現状や効果の分析が不十分な点など、改善の余地があるため今後に期待したい。事業の実施に当たっては、第五次平生町総合計画の「計画の進行管理」に示された成果指標や行政評価などを意識して取り組まれない。

事務の執行に当たっては、適切な事務分担を行い、正確かつ効率的な事務処理を推進するとともに、時間外勤務の縮減を促進し、メンタルヘルスケアの対策により、職場の士気を高め業務効率の向上を図りたい。

物価高騰の影響によりさらに厳しい財政状況になることが予測されるため、財源確保や事業の選択と集中による経費削減などに取り組まれ、限りある財源の効果的な配分に努め、健全な財政運営を図りたい。



細田 留美子 議員  
ほそだ るみこ

# いっぱん質問



が聞きたい

## 質問 一人暮らしでも安心できる町に

### 答弁 孤独死、孤立死がないように対策を考えたい



#### 質問

65歳以上の人口割合が過去最高となった。一人暮らしのお年寄りも増え、不安を抱えながら生活をしているそれに対しての取組み状況と課題を質問する。

安心して生きるための制度は整ってきているが孤独死に不安を感じている人が増えている。高齢化社会白書によると半数以上の人が感じているという。

#### 答弁

町長

本町の高齢化率は、本年4月1日現在で41.4%と過去最高を更新している。

一人暮らし高齢者数は、718人となっている。実態調査の結果から民生委員が自宅を訪問等による見守りを継続して実施している。民生委員の負担が大きくなっている。今後、地域福祉の担い手となるボランティア人材の育成と確保が課題であると考えている。

本町では身寄りのない方が亡くなった場合、墓地、埋葬等に関する法律に基づき、町が火葬を行っている。

令和元年度以降に身元の引き受けがなく、町で火葬を行った件数は6件で、うち高齢者は4件となっている。

いずれにしても孤独死、孤立死がないように、引き続き対策を考えたい。

## 質問 「平生の日」の制定を望む

### 答弁 お盆とお正月に近いところで考えている

#### 質問

国が定めた祝日のほかに条例で指定できる記念日がある。

人口減少が進む中、活気を取り戻し、町内を盛り上げるために「平生の日」の制定は考えられないか。

来年は平生町制70周年を迎える。それを記念しての取組みとし、その次年度からふるさと祭りとして続けていくことはできないか。

町内全体全員で参加し、一体感を醸成する機会となる。

町出身の人が祭りを目指して帰省したり、故郷に想いを馳せる日の制定はどうか。

#### 答弁

町長

自治体の記念日を制定して、地域の活性化を図る取組みが行われている事例がある。

記念日を制定することは、生まれ育ったふるさとに対する思いを育み、地域への愛着を高めるきっかけとなり、地域の魅力や元気を広く発信できると考えられる。また制定している自治体から情報収集するなどして検討していく。

秋にはたくさん行事があり、これをまとめるのは、日程上難しい。お盆とお正月に近いところへ帰省される方が多いので、その時期に何かできないかと考えている。

町民の皆さんの意見も聞きながらまとめていきたい。



中本 敦子 議員  
なかもと あつこ

**質問** 太陽光発電設置者と地域住民が共存できるための要綱はできないか

**答弁** 要綱は近隣市町を参考に取り組む

**質問**

現在、太陽光発電施設数は、面積にするとどれくらいか。

苦情や問い合わせは何件くらいあるのか。

増加する要因は何だと考えているのか。

設置者と地域住民が良好な関係を保つため

今までの設置、これから設置する場合、周辺

住民への説明と所有者が容易に分かる仕組み

づくりが必要。

水田には水利権などが付いているが、管理体制はどうか。

周辺地域住民の生活環境に影響を及ぼすこと

のないよう、事業者と共存していくために

も指導及び助言をいただけるような要綱はできないものか。



**答弁**

農業委員会  
事務局長

農業委員会で審議したものは、令和5年度までの12年間で延べ461件、面積約71ヘクタールである。

問い合わせは月に1、2件である。

増加の要因は国の支援事業であり、日照時間が長い地域特性や地主が管理に苦慮されていることなどである。

**答弁**

町長

出力20キロワット以上の規模のものは今年4月から住民への説明会や管理者の連絡先を示す標識の掲示が義務付けられた。

水の管理は、農地転用の許可申請前に関係住民への説明を事業者

にお願している。

要綱については近隣市町の取組み状況や成果を検証し、検討していきたい。

町長

町長

町長

町長

町長

町長

**質問** 荒廃の進む田畑を活性化できないか

**答弁** 関係するみなさんと検討していく

**質問**

野山は竹や雑木が広がり農地は荒廃が進み道路は管理する人がいなく通れない現状がある。農業は人口減少、

担い手不足であり、米作りには金をかけず大量生産し人口増加する

諸外国へ輸出する検討案があると聞いた。基盤整備の進まない平生

町農家としては残念だ。

残された田畑を高齢者や女性たちでできる

野菜栽培など趣味と実益を兼ねた農業施策は

どうか。

農地に親しむことで、日常生活の安定・認知症予防・健康管理

など長寿の町を守り続ける利点にもなる。環境問題など、住みよい

町づくりにつながる。

大きな視点で行政、JAと農業者が手を組み

協力し合い即実行できる方法は考えられないか。

町長

町長

**答弁**

町長

町内の農地は減少の一途をたどっている。その対策として本町の

農業者の大部分を占める小規模農業者へ、農

機具の移動経費の補助やイタリア野菜の振興

をしている。定年帰農者を対象にした勉強会

の開催などの取組みを進めている。

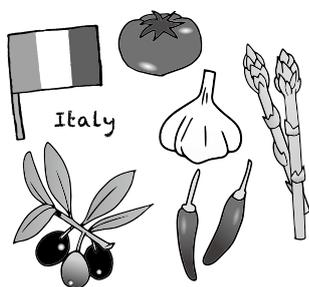
地域で取組みができれば高齢者の生きがい

対策だけでなく、農地の維持につながる。

農業に関係される全ての町内のみなさんと

連携をとって、今後の平生町の農業をいかに

進めていくかを含め検討していく。





原 真紀 議員  
はら まき

## 質問 食料の自給率を上げて安心できるまちに

### 答弁 調査検討していく



#### 質問

①現在の農業生産者の状況はどうか。  
②ひらお特産品センターの活性化のために町からどのような支援がされているか。  
③平生町の食料自給率を上げるために、新たな施策として「地域おこし協力隊」を農業の担い手として活用を検討してみてもどうか。  
④学校給食の食材として納品できるように、特産品センターの野菜やお米の価格に対して、町から補助はできないか。

#### 答弁

町長

①2020農林業センサスによると農業経営体数が130、基幹的農業従事者の平均年齢が75.1歳である。担い手不足や生産者の高齢化が深刻な状況である。地域計画の策定に向けて各地区で座談会を行っている。  
②センターへの支援は堆肥購入、発送用段ボール作成、イタリア野菜の苗などの助成をしている。今後も活性化のために有効な支援策を検討していく。  
③協力隊として現在オリーブの栽培と特産品開発で2人いる。どういった人が必要か募集の方法を含め検討したい。国の施策についてはそれに合った対応ができるかどうかを含め検討したい。  
④学校給食の食材への補助金についてはできるかどうかを調査検討していく。

## 質問 上関町における中間貯蔵施設計画について

### 答弁 1市3町で認識を共有していく

#### 質問

①5月8日以降の1市3町の首長会議の内容は。  
②多方面からの情報収集や国や県への要望を検討することは、その後どう進んでいるか。  
③国、県、事業者からの説明会の予定は。  
④青森県六ヶ所村の再処理工場やMOX燃料工場の完成時期が2年半以上延期された、町長の見解は。  
⑤事業者によるボーリング調査の状況などについても説明会の開催と情報の公開を求めるべきだと考えるがどうか。  
⑥瀬戸内海環境保全特別措置法によれば、中国電力の上関町内の所有地は、100%が保護されるべき場所と海城である。原発関連施設がないことが、住民の安全安心につながることを認識して今後首長会議でも議論することはできるか。

#### 答弁

町長

①5月8日に、柳井市役所で行った協議では1市3町の状況などについて情報共有、意見交換を行った。それ以降は、開催していない。  
②必要に応じて首長が集まり協議する。  
③情報を得る機会は確保されるべきと考えられる。  
④使用済み核燃料の中間貯蔵施設に関わっているのが注目すべき事業である。  
⑤1市3町の首長会議でその旨を図っていく。  
⑥環境保全法は、国の法律であるので国で対応されるものだと考える。  
1市3町が認識を共有していく必要がある。なので、首長会議の開催を働きかけていく。

## 質問 地域防災マネージャーの活動は

答弁 関係機関との調整や出前講座などを行っている



中村 一幸 議員  
なかむら かずゆき

### 質問

地域へ出向き災害発生時の対応をどのようにすれば良いか現場を見て地域の方から話を聞いているか。  
地域防災マネージャーは、柳井地区広域消防や消防団と連携して平生町に合った防災について話し合いの場を設けているか。  
3月議会一般質問で細田議員が地域防災マネージャーについて質問された。その中で、「地域防災マネージャーが地域に出向き、災害図上訓練や避難所運営ゲームといった手法を活用した図上訓練を行うことや防災訓練のサポートなどに取り組む」と答弁されている。どのような活動をされ、どのような結果や成果がでているか。

### 答弁 町長

地域防災マネージャーの証明書を有した人を任用し防災体制のさらなる充実及び人材の補完を行った。  
内容は大規模な災害が発生した場合、関係機関との情報共有、本部会議の準備、運営を中心に担っていくほか、様々な決定に際し、的確な助言、関係機関との調整や住民への情報発信をする役割などを担う。  
平時においては、自助・共助の考えが有効的に發揮されるよう地域で実施する防災訓練のサポートなど、日頃から地域住民に接した取り組みを行うことで、地域防災力向上への貢献を期待している。  
今年度は、災害図上訓練のDIGや避難所運営ゲームHUGといった出前講座や地域で実施する防災訓練では防災講話を行うなど連携した取り組みで防災強化に繋げている。

## 質問 街路樹・公園地などの樹木管理

答弁 管理の向上を図っていき安全性も考慮していく



尾 忠明 議員  
なが ただあき

### 質問

中央通り・マロニエ通りや県道にある街路樹のマロニエと桜について問う。マロニエは落葉処理の煩雑さからの剪定や伐木、事故での倒木、枯死などで、並木に見えにくい。電線に接触する高さの木もある。桜は大きく成長したものは、根を広げ、通学路でもある歩道を凸凹にしている。  
また、一部の公園地などにある夾竹桃は、根、葉、茎、花など、樹木全体に毒性を持つ。その植生から、期待した役割があったかと考えられるが危険を感じる。  
今後の街路樹、公園地など樹木の適切な管理と植樹時の樹種選定について尋ねる。  
木や花を愛でつつ、持続可能な管理を模索し、未来の豊かな平生町での暮らしの実現を求める。

### 答弁 町長

街路樹は道路景観の向上などの役割がある一方で計画的な維持管理が求められている。  
十分な管理ができていないのが実状であり、今後は、剪定業務などの委託も検討して、街路樹の管理の向上を図っていく。  
夾竹桃を選定した理由は不明であるが、工場や排水機場の排煙対策や防音効果などを期待して選定したものと想定される。  
今後の管理については、樹木の特性を理解したうえで検討するが、新市児童公園は管理を委託している自治会、排水機場は県や委託業者と協議を行い検討していく。植栽時の樹木の選定については、樹木の機能などのほかに安全性も考慮し選定していきたい。



# 継続調査案件の調査（閉会中の委員会活動）

産業文教常任委員会

7月23日

## 【学校教育の振興】

〔報告〕

◎平生町立学校の将来の在り方委員会について

検討委員から、小中連携（一貫）のもとでの地域教育ネットと学校運営協議会について、これからの時代が求める学校の姿、小中一貫教育は時代の流れ、学びの多様な学校についての4点の説明があった。

その後、小中一貫の小学6年生が中高一貫の中学に進学を希望する場合について、地域コミュニティの拠点として歩むことができる学校について、近隣市町の児童数も踏まえた検討も必要、などの意見が出された。質疑は学校・家庭・地域の連携や協働では、学校の負担や保護者、地域の負担を懸念するが現状はどうか、などについてなされた。詳細は、町公式ホームページで公表する。

〔産業振興、公共施設の維持管理〕

〔主な質疑〕

質 丸山海浜パークの整備の進捗状況はどうか。

答 今夏のシーズンが終わった後に着工する予定としている。

〔社会教育の充実〕

〔主な質疑〕

質 自然体験教室とはどのような内容を行っているのか。

答 以前は工作教室を行っていたが、指導者の高齢化などの理由から継続が難しく、内容を変えて令和4年10月から実施している。今年度は自然に関する絵本の読み聞かせや校内散策などを予定している。

総務厚生常任委員会

7月31日

〔防災対策〕

〔報告〕

◎今年の梅雨時期における大雨の対応について

6月27日の雨では、大雨警報の発表はなかったが線

状降水帯予測を受けて27日午後5時から第1警戒体制のまま職員配備を増強した。午後7時に平生まち・むら地域交流センター、佐賀地域交流センターの2箇所を避難所として開設し、防災無線や防災メール、ホームページなどで自主避難の呼びかけを行った。

〔主な質疑〕

質 河川の関係は、建設課の管轄と思うが総務課としてポンプの検査がされているか、浚渫がどうなっているかなどの横の連絡、連携はどうか。

答 梅雨時期に入る前や出水期の前には注意喚起をするが、台風シーズンを迎えるので改めて各課と横の連絡を取るようにする。

質 佐賀地域交流センターには発電機があるが、作動の仕方や停電時の発電機への切り替え方を職員は、知っているのか。

答 職員に操作方法を説明したい。また、マニュアルを作成し備えつきたい。

原稿募集

議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うこと何でも結構です。

字数 400字以内

提出先

平生町役場、議会事務局、議会広報担当者

紙面の都合で一部変更する場合がありますが、ご了承願います。掲載文には薄謝を差しあげます。



議会の動き

(R6.6.17 ~ R6.9.10)

- 6月17～25日 令和6年第3回定例会
- 6月17日 議会広報広聴調査特別委員会
- 6月25日 議会全員協議会
- 7月1日 議会広報広聴調査特別委員会
- 7月5日 柳井地区広域消防組合議会第1回臨時会
- 7月9日 議会広報広聴調査特別委員会
- 7月10日 柳井地区広域市町議会議員研修会
- 7月18日 柳井地域広域水道企業団議会第1回臨時会
- 7月19日 議会広報広聴調査特別委員会
- 7月23日 産業文教常任委員会
- 〃 田布施・平生水道企業団議会定例会
- 7月26日 議会全員協議会
- 7月31日 総務厚生常任委員会
- 8月20日 山口県町議会広報研修会
- 8月29日 議会運営委員会
- 9月2日 議会全員協議会

# 研修報告

## 町議会広報研修会

(県町議会議長会主催)

8月20日にセントコア山口(山口市)において、議会広報ファシリテーター/熊本大学客員教授 越地真一郎氏を講師に迎え、議会広報研修会が開催され県内6町の議会広報担当者が参加しました。

研修では「そろそろ化けませんか!!」創意、工夫の取り組みに学ぶ」と題して講演があり、その後、実際に発行した議会だよりに対するのクリニック(問題点や改善点の抽出)が行われました。



## 柳井地区広域市町 議会議員研修会

【場所】 柳井クルーズホテル(柳井市)

【期日】 7月10日

【講師】 総務省統計研究研修所

統計技術研究官 長尾 伸一氏

【内容】 地方議会におけるEBPMの推進について。(EBPMとは証拠に基づく政策立案のこと)



## 市町村議会議員研修

【場所】 全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市)

【期日】 8月8日~8月9日

【内容】 自治体予算を考える

【受講者】 中村 一幸 議員

是非ご来庁、傍聴ください

### 次回

### 令和6年12月定例会会期(予定)

12月 2日(月)	9時~	全員協議会
12日(木)		本会議
13日(金)		本会議
16日(月)		産業文教常任委員会
17日(火)		総務厚生常任委員会
20日(金)		本会議

◆右記の平生町議会の本会議、各委員会、全員協議会は傍聴できます。

◆議場と委員会室は、1号棟3階にあります。傍聴を希望される方は、直接3階の議場または、委員会室にお越しください。傍聴届に必要な事項を記入後、傍聴席で傍聴していただくという流れになります。

◆また、1階の交流室のモニターで本会議の様子を自由にご覧いただけます。

## 編集後記

10月に入り少し過ごしやすくなりました。秋の実りが気になるこの頃ですね。我が家も稲刈りがやっと終わりました。

10月5日の佐賀小学校の運動会を観望しました。児童のみなさんの元気な声と応援する保護者や地域の方の声。見ている私も元気になりました。人と人のつながりの大切さが求められる今、子どもたちを見守る目がかんなにたくさんあるのだと感動しました。

子どもたちの明るい未来のために、町民の皆様の声を聞き、自分に与えられた役割をしっかりと果たして行きます。

議会傍聴にもお気軽に、ぜひ、お越しください。議会だよりの感想もお願いします。

原 真紀